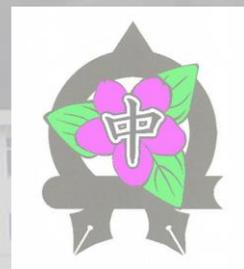


# 協働



## 主体的・協働的な取組の中の確かな成長

校長 西村 元一

体育大会では、たくさんの応援をいただきありがとうございました。体育大会実施要項に記された「育成する資質・能力」として【役割の理解、責任・計画の遂行力】【健康・安全に関する実践力】【他者の考え・立場を理解し協働する力】【フォロワーシップとリーダーシップ】【見通しをもち計画を立てる力】が挙げられていました。

ある3年生と話をしたところ、体育大会の感想を次のように語ってくれました。

「今の3年生は、1・2年生の頃は積極性が少し足りなかった。3年生になり、体育大会では最高学年としての責任感が出てきて、責任を果たすために3年生同士で足りない部分を補い合ったり助け合ったりすることができた。その中で1・2年生へのアドバイスなども積極的に行うことができた。」…役割理解，責任遂行力，協働する力

「最初は、後輩をどうリードするかを考えても思いつかなかったり、工夫しても1・2年生に理解してもらえなかつたりした。そこで、3年生同士で事前に練習計画を打ち合わせるようになり、リードできるようになった。」…見通しをもった計画力，協働する力

「自分が1・2年の頃は3年生に遠慮して意見を言うことはできなかった。今年も、取組直前に行ったプロジェクトアドベンチャーでは、後輩と仲良くなれたという成果と、3年生が1・2年生をリードする場面はあっても後輩からの意見が出ないという課題があった。しかし、体育大会の取組を進める中で1・2年生も自分の考えを言ってくれるようになった。」(後輩の主体性を引き出したのは3年生です)…フォロワーシップとリーダーシップ

最後に次のように語ってくれました。挑戦からの成長した姿がうかがえました。

「自分はみんなの前で話すのが苦手だったが、それを見事に実践している友達を見て、自分も苦手克服のために積極的に中心的な立場を引き受けるようにした。自分も一生懸命やったが、みんなが協力してくれるのがうれしかった。自信になった。」

余談ですが、整理体操の担当生徒がけがで役割を果たせない状況がありました。整理体操は全体の前で指揮を執る大役です。「どうしましょう？」と教員の指示を待つのではなく、「〇〇君が保健室なので、私が代わります」と、自ら引き受けて問題をスマートに解決してしまった生徒もいました。

主体的・協働的な取組の中で、たくさんの成長の姿を目にして、胸が熱くなりました。